

平成 27 年度 アップール会本部役員会議事録

1. 開催日時 平成 26 年 4 月 17 日 (金) 14 時～16 時 45 分

2. 開催場所 東洋食品工業短期大学 会議室

3. 出席者

会長	野上 健次
副会長	佐々木 幸治
同	羽場 正信
同	田中 喜徳
同	松原 清俊
会計幹事	斎藤 至康
東北支部長	富樫 健
関東支部長	篠原 龍浩
信越支部長	中村 正和
静岡支部長	田口 淳
名古屋支部長	岡本 雅志
近畿支部長	長塚 洋二郎
四国支部長	西山 正一
会計監査	本間 欽吾
同	中野 栄介

(監査業務終了後本会議には欠席)

事務局 斎藤 至康 (15 名)

欠席者

北海道支部長	豊田 勝巳
中国支部長	竹内 毅
九州支部長	原 裕久 (3 名)

定刻 野上会長議長席に着き本日幹事 2/3 以上の出席でありますので「アップール会会則第 16 条」により役員会は成立した旨告げ、開会を宣言。

4. 議題

第 1 号議案 平成 26 年度収支決算報告の件

斎藤会計幹事より別添資料 1 に基づき報告、併せて本間会計監査より監査

報告があり異議なく承認された。

第2号議案 平成26年度会費納入状況報告の件

齋藤事務局長より別添資料2に基づき報告、原案通り承認された。

第3号議案 平成26年度支部活動報告の件

各支部長より26年度の支部活動および27年度の活動計画について報告があった。

「東北支部」

6月14日に宮城県多賀城市で支部総会開催 会員31名出席。
総会後津波対策された東洋製罐仙台工場とキリンビールの工場見学。
今年度は6月20日山形寒河江にて総会開催を予定している。

「関東支部」

8月9日に東洋製罐本社で支部総会開催 会員19名出席。
今年3月28日キリンビール横浜工場の見学 会員17名参加
5月と今年2月に幹事会開催。
工場見学を企画すれば新しい会員も参加されるので今後も検討する。
今年度は9月に銚子で工場見学を兼ねて総会開催を予定している

「信越支部」

11月実施で支部総会を計画したが、人数が集まらず出来なかった。
全員の足並みがそろわないので、総会実施は困難な状態であるが、勉強会なしで総会だけでもと考えている。

「静岡支部」

今年3月7日に支部総会開催 女性を含めて会員10名出席。
支部役員の改選を実施、石田支部長、山中副支部長の新体制となった。

「名古屋支部」

支部総会開催なく6月に幹事会のみ。
若い人の総会への参加が難しく、また会員の足並みがそろわない状態である。

「近畿支部」

10月18日に学校で支部総会開催 会員13名出席。
会員の人数が多い割には出席者が少ないが、毎年総会を継続していけば新しい会員も出席されるのではないかと考えている。
今年度は6月頃に幹事会 秋に総会開催を予定している。

「四国支部」

7月5日に香川県琴平町で支部総会開催 会員9名出席。
香川県中心の開催となり、今後他県にも出席を促したい。

「九州支部」

9月13日に博多で支部総会開催 女性2名が初参加され会員21名出席。出席されるメンバーが決まっているので、新メンバーの出席を促していきたい。

今年度は支部50周年となるので、9月に1泊2日で研修会を兼ねて総会開催を予定している。

第4号議案 平成27年度収支予算書(案)の件

斎藤会計幹事より別添資料3に基づき報告、原案通り承認された。

第5号議案 その他

① 新会員が支部総会に出席してもらうための対策として

- ・数10年前までは行っていたように、会員が勤務している会社のトップに対して「アピール会の支部総会」を開催するので出席させてもらいたい、という願書を出すことも必要ではないか。
 - ・研修会に参加させようとするには、今までは学校に一任していたため少しかけ離れた内容の話もあった様に思えるので、会員たちの身近にある共通な事をテーマに取り上げてもらうようお願いしていくか、もしくは各支部でふさわしい人選を行い、会社のトップを「アピール会」に向かせるようにして、新しい会員特に若い人の参加を促さなければ会の発展は難しい。
 - ・会員の中で技術的なこと等について隠れたスペシャリストがおられると思うので、その人達にお願いして講演をしてもらうのも一案である。
 - ・今年度の各支部総会のうちテストケースとして2・3か所で野上会長自身がテーマを持って講演をし、反応を見てみるのも一案である。
- その他種々の意見が出たが、会長が支部長とコンタクトを取り合い、テスト的に講演をして反応を見て対策を練る事で全員の了解を得た。

② アピール会則第4条の「準会員」のとり扱いについて

- ・現「会則」では在学生および役員会において推薦された者と定めているが、1年間だけ専門的分野の授業を受け卒業される方も出てきている。アピール会会員としてどう扱うかについて議論をし、種々の意見が出たが、時間の都合もあり方向性が見い出ずに至らず、いったん支部で検討した結果を来年の役員会で図るという事で全員の了解を得た。

③ 今後起こりうる大規模災害に対してアピール会としてのボランティアネットワークの構築について

(主旨)

近年、異常気象による災害や大規模な地震等の発生が起こりうる割合

が高くなってきていると言われている中、4年前の東日本大震災においてアピール会としては家屋全壊した数名の会員に対してお見舞金を渡したという、単なるお金での解決だけであり、それで良かったのか心残りがする。例えば、後片付けの手伝い行く、現地で生活するために必要なものを提供する…等のために、会員一人一人が登録してネットワーク作りをしてお互いを助け合うことが必要ではないだろうかということである。

- ・ある大学ではホームページに「書き込み」の枠を設け、情報を書き込み発信すれば反応がある、というシステムを作って成果も出ている。
- ・昨今個人情報とりざたされているので、会員にネットワーク作りを呼びかけ、同意の返事もらった人だけのリストを各支部で取りまとめ、本部で集計をして支部長と本部が責任を持って保管する。
- ・会員に対して強制はできないが、災害が起こった時に、ボランティアとして参加及び物品の提供をしてくれるかどうかの意思表示を取ってリストにしておけば、万が一の場合、無駄なく効率の良い動きが出来ると思う。
- ・ボランティア活動をお願いするための災害等の基準を決める必要がある。

その他種々の意見が出たが方向性を見い出すに至らず、後日、野上会長が「ボランティアネットワーク」のサンプルを作成し、各役員にメール発信をして意見をと取りまとめ、前進していく事で全員の了解を得た。

以上、本日の議案審議全て終了し閉会。

[資料編]

- 別添資料 1 平成 26 年度 アピール会本部 収支決算報告書
- 別添資料 2 平成 27 年度 支部活動助成金 支払明細書
- 別添資料 3 平成 27 年度 アピール会本部 収支予算書(案)

平成26年度 アppeール会本部 収支決算書

[自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日]

収 入		支 出	
摘 要	金額(円)	摘 要	金額(円)
前期繰越金	5,682,264	支部活動助成金(振込料含む)	308,393
第54期生入会金 (@30,000×38名)	1,140,000	本部役員会開催費	737,502
		支部総会参加役員旅費等	169,454
年会費 (@2,000×418口)	836,000	学生会バスツアー援助金	270,420
自動払込 150口		会費振込用紙作成費	15,768
振替払込 266口		会費納入願書郵送費	97,484
現金 2口		年会費振込手数料	33,000
役員懇親会費	75,000	振替振込手数料 29,250	
		自動振込手数料 3,750	
預金利息	1,100	会計・事務処理作業費等	200,460
郵便局 943		雑費(はがき・ハンコ等)	3,910
三井住友銀行 157		元銚子支部会計残金関東支部へ支払 (振込料含む)	24,373
元銚子支部会計残金入金	23,800	次期繰越金	5,897,650
雑収入	250		
合 計	7,758,414	合 計	7,758,414

上記 記載事項について相違ないことを認めます

平成27年4月17日

会計監査

本間 欽吾



会計監査

中野 栄介



資料 2

平成27年度 アップール会支部活動助成金 支払明細書

(平成26年度本部会費納入ベース)

支払日 平成27年4月17日

支部名	会員数	会費入金 口数	入金率 %	支部活動助成金		受領印
				単価(円)	助成額(円)	
北海道	24	6	25	700	4,200	
東北	146	71	49	700	49,700	
関東	212	70	33	700	49,000	
信越	45	11	24	700	7,700	
静岡	125	31	25	700	21,700	
名古屋	80	20	25	700	14,000	
近畿	405	107	26	700	74,900	
中国	66	24	36	700	16,800	
四国	122	32	26	700	22,400	
九州	192	46	24	700	32,200	
計	1,417	418	29		292,600	

平成27年4月17日

平成27年度 アップール会本部 収支予算書(案)

[自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日]

収 入		支 出	
摘 要	金 額 (円)	摘 要	金 額 (円)
前期繰越金	5,897,650	支部活動助成金	301,000
第54期生入会金 (@30,000 × 36名)	1,080,000	本部役員会開催費	650,000
		支部総会参加役員旅費等	200,000
年会費 (@2,000 × 430口)	860,000	学生会イベント援助金	300,000
		封筒・会費振込用紙作成費	50,000
役員懇親会費	70,000	会費納入願書郵送費	100,000
預金利息	1,200	年会費振込手数料	34,000
郵便局	1,000	振替払込料金	30,000
三井住友銀行	200	自動払込料金	4,000
		会計・事務処理作業費等	200,000
		予備費	100,000
		雑費	10,000
		次期繰越金	5,963,850
合 計	7,908,850	合 計	7,908,850